

今週の
倫理

5/25(土) まいど! 倫理号です。5/22~23日の出張です。高松東倫理法人会より
倫理での出張、R. 木下歌平をお招きする中に出張した。君が代を
生の声から出雲大社の造りのこの今に拝観の 2013. 5. 25~6. 1

822号

先で歌平の山にたどり着く。本当は雨の?と疑って
「また、何人かこの山に歌平の山にたどり着く。感動で
涙々でた。人って想いがあるよ。おめでとう。幸せ運ぶ。アホ鳥

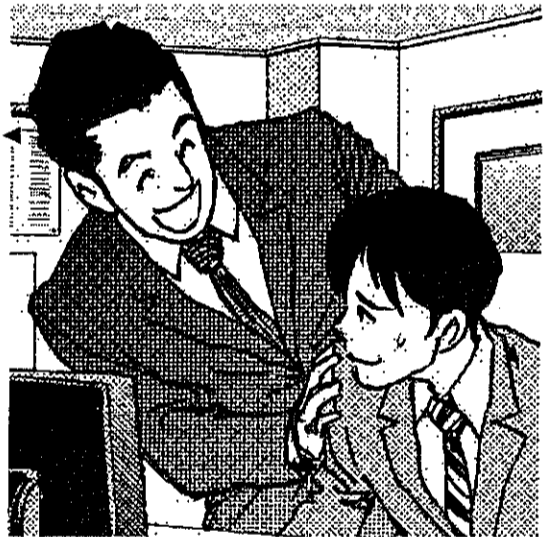
先日、北海道札幌市でもようやく桜の開花
が宣言されました。一方で、沖縄気象台は沖
縄地方が梅雨入りしたと見られると発表し
ました。改めて縦に長い日本の地形と気候の
特徴を思い知らされます。

天候気候に対しては、例え晴れた日が好き
であろうと、雨天が嫌いであろうと、その日
その日の天候を受け止める以外には、どうし
ようもありません。自分の力ではどうしよ
うもないものを嫌うことは、結果として不幸な
結果を招いてしまうものです。

同じ受け止めるなら、「雨のお陰で作物が
育つ」「雨が降ってくれるから、夏の水不足
の心配がなくなるのだ」と、見方を変えれば、
嫌だと思っていたものも、喜びと感謝の対象
にすることは可能です。そのような人は、心
豊かに生きることとはどういうことか知る
人なのです。どのような思いで対処するか、
行動するかが、起こる出来事に関係なく、そ
の人の幸不幸の境目となります。

平成二十五年度が始まる前に、倫理法人会
の役職を受けるべきかどうか迷っている経
営者A氏がいました。

A氏は所属する会の流れから言えば、受け
るべき立場にありました。しかし、自身の会
社の経営が最悪の状態にあったのです。そこ
で、信頼すべき先輩に役職を受けるべきかど
うか、相談をしました。すると、先輩から、
「役職の話が巡って来たということは、君
自身にとっても必要だから来ているという



環境に意義を見いだし 幸福を招く達人となれ

絵・今谷 鉄柱

一面もあるので、ぜひ喜んで受けた方がよい。
そして、今君の会社の経営が苦しくても、倫
理法人会と会社経営と家庭は、三位一体の関
係にあるから、倫理法人会の役職を真剣に行
ない会を発展させれば、必ず会社の経営も良
くなる」と背中を押されました。

その後、A氏は先輩の言葉を信じて役職を
受け、一所懸命に会のために尽力しました。
八カ月が経過した現在、会社は最悪の状態を
脱することができ、改めて「三位一体の関係」
を実感しているといいます。

一方で、昨年9月から役職を受けて、モー
ニングセミナーをはじめとする各種行事を
とりあえず滞りなくこなして来た役員B氏
がいます。ところが、B氏にはこれといった
変化はありませんでした。年度の終盤に突入
した現在、達成感よりも疲労感が勝る今日こ
の頃となっています。

倫理法人会活動によって、良き変化のあつ
た役員とそうでない役員の差はどこにある
のでしょうか。

A氏は、これからのわが地域と日本には、
倫理実践者の拡大が必要であると、倫理法人
会活動に意義を見いだしています。一方で変
化の見られないB氏は、未だ活動の意義を見
つけられず本気で活動に取り組めていない
現状にあります。

いかなる環境に対しても、そこに意義を見
いだせる人が、人生の達人であり、幸福を招
くことができる真の実践者といえるのです。